

## 「平成 19 年度働きざかり世代の生活習慣実態調査」について

## 1 調査目的

東京都の生活習慣病対策及びがん対策の効果的な推進に役立てることを目的に、都内事業所における定期健康診断及びがん検診の実施状況、30 歳～40 歳代の働きざかり世代男性従業員の生活習慣等について、実態調査を明らかにする。

## 2 調査規模・期間・調査方法

## (1) 調査規模：

対象 100 事業所・従業員 1,524 人

回答 87 事業所・従業員 807 人(回答率 事業所 87%、従業員 53%)

(事業所規模別内訳)

大規模（従業員 1,000 人以上）	14 事業所 321 人
中規模（従業員 50 人以上 1,000 人未満）	22 事業所 303 人
小規模（従業員 50 人未満）	51 事業所 183 人

(2) 期間：平成 19 年 12 月 1 日～10 日

(3) 調査方法：郵送による配布、回収

## 3 主な調査結果

事業所の定期健康診断の実施率は、大規模・中規模事業所は 100%、小規模事業所は 78.4%である。

従業員の定期健康診断の受診率は、大規模事業所では 95.0%、中規模事業所は 95.4%、小規模事業所は 77.0%である。

定期健康診断結果で何らかの異常を指摘された者は、30 歳代は 34.8%、40 歳代で 63.4%と 40 歳代が多い。異常を指摘された項目は、「脂質代謝異常」が最も多く 55.7%、「肥満」33.6%、「高血圧症」16.8%の順である。

定期健康診断の結果を「受け取ったのみ」の者は 75.8%、「医師、保健師、看護師等から説明を受けた」者は 20.5%である。

事業所のがん検診実施率は、胃がん 46.0%、肺がん 37.9%、大腸がん 42.5%、乳がん 32.2%、子宮がん 31.0%である。

従業員のがん検診受診率は、胃がん 10.4%、大腸がん 8.4%、肺がん 7.2%である。

現在の食事内容に、「少し問題がある」、「問題がある」と思う者の合計は 56.9%である。

「朝食を食べない」者は 24.5%である。

「1 週間に 1 回以上運動している」者は 30%、「運動していないが、今後は始めたいと思っている」者が 27.4%である。

メタボリックシンドロームの意味を「知っている」者は 59.1%である。定義を正しく理解していた者は 25.9%である。